

同月中の同一摘要を個別に処理する方法

株式会社 HAYAWAZA

本資料では、銀行摘要などで存在する同月中の同一摘要を個別に処理する方法について説明します。

HAYAWAZA を起動してから事業所を開きます。対象となる銀行のパターン登録と銀行データの読み込みが完了して、未変換リストにデータが存在する状態が以下の画面です。

No.	日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区分	借方摘要1	借方摘要2
39	2013/05/01				15,000				リース料	
40	2013/05/01				20,000				コピー機	

今回のサンプルでは、銀行摘要が「リース料」となっています。この状態で1つのデータの科目、補助を登録します。借方科目「リース料」、補助科目「コピー機」と修正します。

No.	日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区分	借方摘要1	借方摘要2
39	2013/05/01	リース料	コピー機		15,000	714 課対仕入	内税		リース料	
40	2013/05/01	リース料			20,000				リース料	

1行のみ修正して青い「すべての修正内容を反映」ボタンを選択すると以下ようになります。

早業BANK 8 - [テスト・第1期(H.25/04/01-H.26/03/31) - 弥生会計]

ファイル(F) データ(D) 設定(T) アシスタント(S) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

条件のリセット 表示項目リセット

No.	日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区分	借方摘要1	借方
39	2013/05/01	リース料	コピー機		15,000	714	課対仕入	内税	コピー機	
40	2013/05/01	リース料	コピー機		20,000	952	課対仕入	内税	コピー機	

未変換リスト(銀行) | 未変換リスト(Excel) | 仕訳エディタ(2) | 変換設定 | 二重仕訳設定 | ホームページ

借方合計:35,000 貸方合計:35,000 貸借対当:0 件数:2件中1-2 表示件数(すべて)

上記の画面では、未変換リストの摘要が同一のため、1つの修正で2つのデータが仕訳エディタに移動しました。

次に、この登録された変換設定（優先順位「1」）を修正します。この変換設定を表示すると以下の画面になります。

変換設定の変更

基本情報

優先順位: 1 種別: 未変換リスト用

更新日時: 2020/10/15 17:31:42 拡張条件: 表示しない

変換設定のオプション 変換設定の高度なオプション

同月中の同一仕訳を識別する
(「比較の条件」が同一の変換設定で「優先順位」に基づき振り分けられます)

比較の条件 | 文字列等の変換 | 科目、補助、部門等 | 追加仕訳 |

比較の条件を無効にして変換する(優先順位に従いすべての仕訳が変換されます)

借方

借方摘要1を使用して比較する
比較文字列: コピー機
比較方法: 完全一致

借方摘要2を使用して比較する
比較文字列:
比較方法:

借方摘要3を使用して比較する
比較文字列:
比較方法:

貸方

貸方摘要1を使用して比較する
比較文字列:
比較方法:

貸方摘要2を使用して比較する
比較文字列:
比較方法:

貸方摘要3を使用して比較する
比較文字列:
比較方法:

借方金額オプション

摘要に金額を追加して比較

金額が 0 円 未選択

金額が 0 円 未選択

貸方金額オプション

摘要に金額を追加して比較

金額が 0 円 未選択

金額が 0 円 未選択

日付オプション(摘要を使用) | 日付オプション(日付指定) |

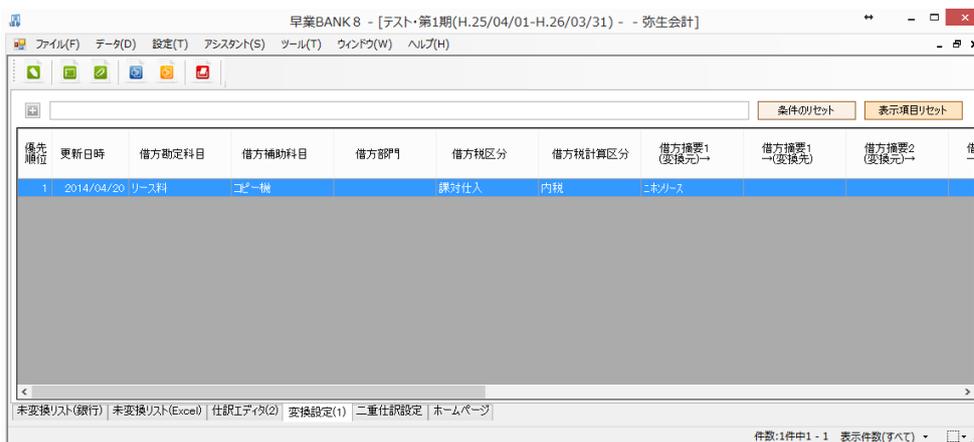
日付と摘要を使用して比較

更新して前(B) 更新して次(F) 更新する(Y) キャンセル(N)

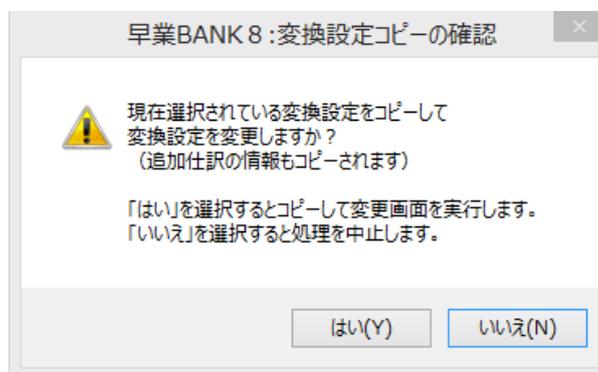
この画面では、「変換設定の高度なオプション」の「同月中の同一仕訳を識別する」をチェ

ックして更新します。

変換設定更新後、変換設定一覧の画面で、先ほど修正した変換設定を選択した状態で右クリックして「変換設定をコピーして変更」メニューを選択します。



以下の画面が表示されたら「はい」を選択します。



「はい」を選択すると以下の画面が表示されます。

変換設定の変更

基本情報
 優先順位: 2
 種別: 未変換リスト用
 更新日時: 2020/10/15 17:31:42
 拡張条件: 表示しない

変換設定のオプション 変換設定の高度なオプション
 同月中の同一仕訳を識別する
 (「比較の条件」が同一の変換設定で「優先順位」に基づき振り分けられます)

比較の条件 | 文字列等の変換 | 科目、補助、部門等 | 追加仕訳 |

借方
 変換時に以下の勘定科目、補助、部門をセットする
 借方勘定科目: リース料
 借方補助科目: 電話料
 借方部門: [指定なし]
 借方税区分: 課対仕入
 借方税計算区分: [未選択]

貸方
 変換時に以下の勘定科目、補助、部門をセットする
 貸方勘定科目: [指定なし]
 貸方補助科目: [指定なし]
 貸方部門: [指定なし]
 貸方税区分: 対象外
 貸方税計算区分: [未選択]

仕訳種別
 仕訳種別: [変更しない] 複合仕訳オプション: 直前の仕訳と複合仕訳にする

更新して前(B) 更新して次(F) 更新する(Y) キャンセル(N)

コピーされた変換設定の優先順位は「2」です。この変換設定の補助科目を「電話代」に変更して、「更新する」ボタンを選択します。

仕訳エディタに戻り、先ほどの2つのデータを選択して右クリックで「仕訳データの削除」を実行します。

早業BANK 8 : 仕訳データ削除の確認

選択された2件の仕訳データを削除しますか？
 「はい」を選択するとデータを削除します。
 「いいえ」を選択すると処理を中止します。

はい(Y) いいえ(N)

早業BANK 8 - [テスト・第1期(H.25/04/01-H.26/03/31) - 弥生会計]

No.	日付	借方勘定科目	借方補助科目	借方部門	借方金額	借方消費税額	借方税区分	借方税計算区分	借方摘要1	借方
39	2019/05/01	リース料	エー機		15,000	714	課対仕入	内税	リース料	
40	2019/05/01	リース料	エー機		20,000	952	課対仕入	内税	リース料	

借方合計: 35,000 貸方合計: 35,000 借債比率: 0 件数: 2件中 1 - 2 表示件数(すべて)

仕訳が削除されたことを確認してから、再度銀行データをドロップしてコンバートします。処理が継続され以下の画面が表示され2つのデータが読み込まれます。



仕訳エディタに個々の補助科目が設定されます。



注意 1：銀行データの並び順と複製した変換設定の優先順位の低い順に「一対一の関係」で変換設定を行いますので、データの並びと変換設定の順番を確認してください。

注意 2：「同月中の同一仕訳を識別する」をセットした変換設定は、通常の変換設定としては処理されません。データの並び順以外で同一の摘要のために変換設定をしたい場合は、「同月中の同一仕訳を識別する」チェックをしていない変換設定を登録して下さい。

以上